

ふれあい

平成25年6月 第324号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広 報 部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442

掲 載 目 次

- 平成25年度の決意・・・・・・・・・・・・・1
- 新緑によせて・・・・・・・・・・・・・4
- 住み良いふるさとづくり・・・・・・・・・・・・・2
- ふれあい短歌・・・・・・・・・・・・・4
- 東日本大震災の教訓・・・・・・・・・・・・・2
- お知らせ・・・・・・・・・・・・・4

大代地区の世帯数(平成25年4月30日現在)：東区353、中区320、西区296、北区119、南区583、合計1,671

平成25年度の決意

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 熱海 五郎

去る4月28日大代地区公民館において、定期総会を行いました。役員、推進委員、代議員、顧問等含む55名の方々が参加されました。議題については、平成24年度事業報告及び収支決算報告、平成25年度事業計画及び収支予算(案)、役員改選、規約の改正について審議していただきました。各議案について、様々な質問等がありました。賛成多数により承認されましたので、ご報告いたします。

今年度の主な事業

- ・貞山運河等周辺清掃(5月、10月予定)
 - ・子どもと大人でおにぎり・豆腐づくり
 - ・夏まつり(8月予定)
 - ・合同防災訓練
 - ・ボウリング大会(10月予定)
 - ・資源エネルギー勉強会
 - ・昔あそび
 - ・新年を祝う会(1月予定)
- 詳しくは、後日お知らせいたします。
 また、今年度は、市から公民館自主事業の委託を受けて、各種講座等の社会教育事業も担当することになりました。
- 今年度は、例年よりも多くの事業を行うこととなりますが、推進委員、各区長、各種団体

の方々のご協力をいただきながら実行してまいりたいと思っております。

なお、今年度の会長他、各部長等が決定しましたのでご報告いたします。

| | | |
|-------------|--------|-------|
| 会 長 | 熱海 五郎 | (大代南) |
| 副 会 長 | 藤原 昭雄 | (大代東) |
| 同 | 米澤 彰 | (大代北) |
| 総 務 部 長 | 本郷 貴良 | (大代西) |
| 同 | 植木 恵子 | (大代中) |
| 同 | 白浜 宣子 | (大代東) |
| 同 | 木村 好男 | (大代中) |
| 学 習 活 動 部 長 | 針生 吉治 | (大代南) |
| 同 | 伊東 泰 | (大代東) |
| 生 活 安 全 部 長 | 荒木 慶蔵 | (大代南) |
| 同 | 松戸 勝義 | (大代中) |
| 広 報 部 長 | 佐藤 聰子 | (大代西) |
| 同 | 佐藤 捷逸 | (大代東) |
| 監 事 | 後藤 重子 | (大代西) |
| 同 | 齋藤 尚子 | (大代南) |
| 顧 問 | | |
| 市 議 会 議 員 | 佐藤 恵子 | |
| 同 | 米澤 まき子 | |
| 大代東区長 | 三浦 徳男 | |
| 大代中区長 | 本郷 良正 | |
| 大代西区長 | 伊藤 要 | |
| 大代北区長 | 加藤 渉 | |
| 大代南区長 | 橋本 浩 | |

最後になりますが、24年度役員並びに推進委員としてご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。今後ともコミュニケーション推進協議会に対するご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



住み良いふるさとづくり

大代南区 町内会長 橋本 浩

4月20日、南区集会所において、平成25年度の総会を開催しました。

町内会の基本方針として、「住み良いふるさとづくり」を掲げており、東日本大震災の教訓から、地域の絆が大切であることを改めて認識しました。

そして、私達の心豊かな生活の基盤となるのは、会員相互の親睦と交流を深めること。青少年の健全育成に努めること。高齢者の福祉向上に努めることであり、これらのことを大切にして、安全でより快適な生活環境を目指して行こうと思っております。

また、地震、津波等の災害から身を守るため、防災意識の高揚と防災体制の強化に努め「住み良いふるさとづくり」を推進してまいります。

今年度の事業

・7月 日帰りの研修旅行

(昨年は、70名が参加)

・8月 夏まつり(昨年は、約700名参加)

・9月 敬老会

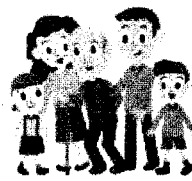
町内会専属の芸能一座が会を盛り上げてくれます。

・1月 日の出を見る会

(昨年は、80名が参加)

この行事は、湊浜緑地公園海岸までの3.5kmを歩き、全身に朝日を浴びながら、共に助け合い、地域の絆を大切に、と祈願しています。

最後に、みんなで甘酒を飲んで乾杯するという計画です。



東日本大震災の教訓

大代北区 町内会長 加藤 渉

この頃地震の回数が増えたら多い。大地震の予兆？ 感じているのは私だけではないだろう。素人の見解から、M9.0の東日本大震災は、押し合っていた海のプレートと陸のプレートの境界面が破壊されて起きた。

そのため周辺の地殻にかかる力が変化し、東日本全体で地震が誘発されていると考える

と少しは頷ける。地震の大きさや、津波の高さは予想できないが、東日本大震災の前後に起きた余震と本震、もしか、これが予兆では、結果論だが3月9日11時45分に、前兆と見るべき地震があった。M7.3震度5弱、ネットでも調べてみた。すると意外に少なかった。のでびっくり。以下は、ネットで調べた内容をいくつかまとめたものである。

発生日時3月11日午後2時46分という時間も参考になると思う。記載の順番は適当。

3月11日の大震災の起きる1週間前までに、大震災と同じ「三陸沖」を震源とする、M(マグニチュード)4以上の有感地震(震度1以上)がかなり発生していた。

3月4日・0回、3月5日・0回、3月6日・0回、3月7日・0回、3月8日・0回、3月9日・27回(M4台10回、M5台13回、M6台3回、M7台1回)

9日の最大の地震は、11時15分 M7.3

震源三陸沖 最大震度5弱・3月10日・13回(M4台7回、M5台4回、M6台2回)

気象庁は、9日と10日の一連の地震は、9日の震度6弱の地震の余震と思っていた。実際はもっと大きな地震の前兆ではなかったのか、いまさらどうにもならない結果だが、今度に備える準備を今計画しないと手遅れになるのは当然と見るべき。

| | | | |
|---|-------|-------------|----------------------------|
| 1 | 3月9日 | 11時45分 M7.3 | 最大震度5弱 |
| 2 | 3月11日 | 14時46分 M9.0 | 最大震度7 (本震) |
| 3 | 3月11日 | 15時8分 M7.4 | 最大震度5弱 |
| 4 | 3月11日 | 15時15分 M7.7 | 最大震度6強 (最大余震) |
| 5 | 3月11日 | 15時25分 M7.5 | 最大震度4 (海溝軸より東側太平洋プレート内の地震) |
| 6 | 4月7日 | 23時32分 M7.1 | 最大震度6強 (沈み込む太平洋プレート内の地震) |
| 7 | 4月11日 | 17時16分 M7.0 | 最大震度6弱 (陸域の浅い地震) |

米地質調査所によると、M9地震は20世紀以降、東日本大震災を含め世界で5回発生した。場所は、チリやアラスカなど環太平洋に集中しており、いずれも海のプレート(岩板)が、陸のプレートの下に沈み込む海溝付近で起きている。チリでは、津波堆積物の調査で、M9地震が、平均300年間隔で繰り返し発生してきたことも明らかになった。スマトラ

島沖地震の津波被害(スリランカ) / チリ中南部沿岸に残る津波の痕跡、海底には海嶺という巨大山脈があり、海のプレートはここで生まれる。地球深部からマントルが上昇してマグマができ、海水で冷やされプレートを形成。マントル対流に乗ってベルトコンベヤーのように、年間数センチの速度でゆつくりと移動し、海溝で陸の下に沈み込む。海と陸のプレートがくっついて、滑らかに沈み込めない場所(ひっかかり)(固着域)では、地殻にひずみが蓄積して大地震が起きる。と学会が報じている。

東日本大震災の約10年前のGPSデータでは、宮城県沖から茨城県沖にかけて強い固着域があった。しかし、従来の地震学は、同じ場所では過去と同規模の地震が起きるのが常識だったため、東北太平洋岸でM9は想定されなかった。

宮城県沖から茨城県沖にかけての領域では、869年貞観地震でいくつかの震源域が同時に活動して、M8.6もの巨大地震だったことがわかってきた。

1677年にはM8.3程度の巨大地震が、福島県沖から茨城県沖にかけて起き、1793年には宮城県沖でM8.2程度の巨大地震がおきた。

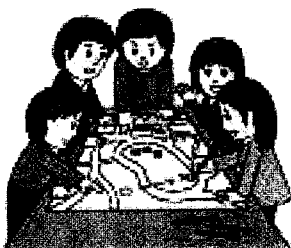
1897年、1938年には、宮城県沖と

福島県沖でそれぞれM7.7とM7.5程度の地震がおきている(1978年宮城県沖地震は陸寄り)。

共通していることは、これら日本海溝南部の活動区分は、南海巨大地震の前に巨大地震ないし大地震が、必ず起きていることに注目しておく必要があった。地震の今後30年の発生確率は約99%と固定されつつある。

もう一度、東日本大震災を振り返り、フリーゾーン開放できる避難所、同所の環境整備、地区が孤立しない通信網の確保、物品、病人の搬送車両、発電機の燃料備蓄、支援を効率よく受け入れられる態勢と、訓練からしか生まれないチームワークの形成が今後の訓練課題だ。地域にある、あらゆる組織、機関を活用し、各々の分野が持つ資機材、人材を活用できる防災訓練を、企画実施してみたいと考えている。

その節はよろしく願います。



新緑によせて

大代南区 星 繁子

桜の花も散り、若葉が萌えるさわやかな季節になりました。例年なら桜の季節になると貞山堀に浮かぶ中島の舳に一本の桜があり、水面にその美しい姿を写しながら、身も心も癒してくれました。今年はまだその桜は見られません。津波で地盤が沈下し、水没したのでしょうか？

近隣に住む老人にとって淋しい桜の季節でした。そんな時の頃、多賀城東小学校2年の曾孫が学校から帰るなり「ピーチャン、将来の希望は何ですか」私は返事に困り、「そうだなあ、ポックリ死ぬことかなあ」と常々思っていることを口走ってしまいました。曾孫は「死ぬってどんなこと、死んだら帰って来れないの？」「そんなの駄目！お願いだから死なないで、私は、パテシエになるから」と泣きべそをかいていました。その姿を見て私は、なんて心ないことを言ったのだろうかと反省し、最近体調も悪く、視力も落ち、耳も遠くなり、人間としての機能が年々退化し、その分を回りにかける負担と体がままならないジレンマで、日々の生活が後ろ向きになっている自分に気が付きました。尊敬する作家曾野綾子さんは、高齢でも南アフリカ等、水もない電気もトイレもない未開の地に赴き、自己

の極限に挑みながら難民の救済を続けています。曾野さん曰く、「何の苦勞もない人生なんてあり得ない。それを乗り越えることで人間は強くなり、人生に意味がある！」と、及ばずながら私も同感です。80歳を過ぎた私ですが、残された日々を、精一杯明るく元気で、これからもやって来るだろう精神的、身体的な苦勞と向かい合いながら生きる。これが曾孫への答えかなあ！と思います。

終りに、明治生まれの父の言葉を思い出しました。「不自由を常と思えば不足なし」物が溢れるばかりの現代社会に溺れ、父の言葉も忘れていました。曾野さんとも通じるころがあり、今後の生き方の参考にしたいと思えます。

ふれあい短歌（震災復旧）

大代西区 藤田 遊子

復旧の 祝いに真鯛を備ふれば

一人の誉めし 一品と知る

新調の 電波時計は家宝なり

復旧の家を 祝ぎて煌く

お知らせ

○特定健康診査（健康診査）について

時期 6月4日（火）

場所 大代地区公民館

対象 大代5区

受付時間 午前9時30分～11時

午後1時30分～3時

特定健康診査（健康診査）、結核・肺がん検診、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診を同時に実施します。

○訂正とお詫び

ふれあい3月号第321号3ページ、大代剣道教室紹介の記事で、連絡先の電話番号が誤っております。正しくは、364・6621です。謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

25年度から左記のメンバーでふれあいの編集を行ってまいります。

| | | |
|-----|-------|-------|
| 部長 | 佐藤 聡子 | （大代西） |
| 副部長 | 佐藤 捷逸 | （大代東） |
| 部員 | 渡辺 桂子 | （大代中） |
| 同 | 茂木 綾子 | （大代北） |
| 同 | 渡辺 正平 | （大代南） |
| 同 | 平山 勇 | （大代南） |

今後は、より一層皆様方に楽しく読んで頂けるような紙面にしていきたいと思っております。身の回りの出来事やお知らせしたい情報などがございましたら、ご遠慮なく記事をお寄せくださいますようお願いいたします。